

令和3年第1回邑楽町議会定例会議事日程第4号

令和3年3月18日（木曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算
- 第 2 議案第26号 令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算
- 第 3 議案第27号 令和3年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第28号 令和3年度邑楽町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第29号 令和3年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○出席議員（14名）

1番	島田時男	議員	2番	佐藤富代	議員
3番	小久保隆光	議員	4番	黒田重利	議員
5番	大賀孝訓	議員	6番	瀬山登	議員
7番	松島茂喜	議員	8番	塩井早苗	議員
9番	原義裕	議員	10番	松村潤	議員
11番	神谷長平	議員	12番	小沢泰治	議員
13番	大野貞夫	議員	14番	小島幸典	議員

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
半田康幸	副町長
藤江利久	教育長
関口春彦	総務課長
橋本光規	企画課長
横山淳一	税務課長
松崎嘉雄	住民課長
山口哲也	安全安心課長
橋本恵子	健康福祉課長
久保田裕	子ども支援課長
吉田享史	農業振興課長 兼農業委員会 事務局長
小林隆	商工振興課長
齊藤順一	都市建設課長
築比地昭	会計管理者 兼会計課長
中繁正浩	学校教育課長
田中敏明	生涯学習課長

○職務のため議場に参加した者の職氏名

石	原	光	浩	事	務	局	長
内	田	知	栄	書			記

◎開議の宣告

○神谷長平議長 これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

[午前10時00分 開議]

◎日程第1 議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算

○神谷長平議長 日程第1、議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算を議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。予算書では56ページまでです。

質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○神谷長平議長 進行してよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○神谷長平議長 次に、歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。

予算書では57ページから122ページとなります。

質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○神谷長平議長 進行してよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○神谷長平議長 次に、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産費について質疑を行います。

予算書では121ページから150ページまでとなります。

質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 ページ数でいきますと124ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、その説明欄で上から3つ目の白丸、感染防止PCR検査推進事業、50万円の予算を組んでおりますが、これの積算根拠の説明をお願いいたします。

○神谷長平議長 橋本健康福祉課長。

○橋本恵子健康福祉課長 こちらに関しましては、2,000円掛ける250人が積算根拠となっております。

以上です。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 250人という数字を言われましたが、ご存じのように今このコロナ感染が非常に蔓延しておりまして、昨今のいろいろメディア等を通じて、今朝も私見てきましたが、第4波

が来るのではないかと、既に来ていてのではないかとというような観測もされております。ただ単に従来のコロナ感染と今まで言われていたほかに、要するに変異株と言われている新しい非常に感染力の強いウイルスがもう蔓延してきていると、これがこれから先主流になってくるのではないかとというようなことが言われております。

ワクチンの接種事業についても、当初言われていた国のほうの方針からすると、非常にワクチンの日本に入ってくる数が前から言われていた予定どおりになかなかいかない、これが多くの人たちに接種されるには相当な時間もかかるのではないかとというようなことも言われている中で、今特に強調されているのは、このコロナの無症状者、全然症状が出ていない人たちの感染経路を追い切れなくなってきた、これが現実なわけです。そういう点では、今一人でも多くの陽性者、非陽性者の区別をきちっとやっていかないとなかなかこれをとどめることができないというような状況にある中で、各自治体においては独自にPCR検査をやるというような例も全国各地で出ておる中で、今邑楽町の中でも統計上は33名というような数字が出ておりますけれども、やはりこれを幅広くやっていく必要が、これはあるのではないかとこのように私思います。

そういう点では、250名と言われている対象がどういうところに今重きをなしてやろうとしているのか、その辺分かりましたら説明をお願いいたします。

○神谷長平議長 橋本健康福祉課長。

○橋本恵子健康福祉課長 今回この感染防止PCR検査推進事業で助成金として見ていますのは、あくまでも医師が必要と判断してPCR検査を受けた方の自己負担分を助成するというものになっております。陽性者が1人出た場合に濃厚接触者と言われる方が必ずPCR検査を受けて陽性か、陰性かという判断をしていくような形になっておりますので、そちらの方のご負担を減らすというような目的でこちらの助成金をつくりました。

以上です。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 よく言われますように、クラスターと言われているようなことが言われているのですが、特に医療関係ですか、それからあとは高齢者の施設、もっと広げて言えば今変異株のウイルスというのは、今までどちらかという子供はなかなかかかりにくいと言われていたのですが、この変異株というのは子供にも広がっていく可能性が非常にあると言われております。そういう点では、高齢者施設はもろんなのですが、やはり例えば保育園とか、幼稚園とか、あるいは学校、こういうところにも思い切って広げていくような、そういう検査体制をこれから整えていかなければならないのではないかとこのように私思うのです。そういう点では、金額的に50万円という金額が組まれているのですが、これを大幅に拡充をしてやっていくということが私は必要ではないかというふうに思うのですが、町長の考え方をお伺いしたいと思います。

○神谷長平議長 金子町長。

○金子正一町長 今健康福祉課長のほうからお答えをさせていただいた点については、そういった形で進めていくと。大野議員のほうからのご質問については、これから審査が始まります商工費の中で事業所ですとか、そういったいわゆるクラスターが発生するような状況を防ぐということも含めて、商工費のほうで200万円ほどの予算措置もしてありますので、そういったところでその対応ができるのではないかとこのように思いますので、商工費の中でまたご審議をいただければと思いますが、十分このPCR検査については事前の検査体制を整えて感染者を抑制するといいますか、ということが大事だということに思っておりますので、そのように努めていきたいと、そのように思います。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。まとめてください。

○13番 大野貞夫議員 一応やはり先手を打ってやるということが必要だと思うのです。広がってからはもう遅いわけで、その前にやはり十分な対策を打つということが今必要だと思います。そういう点においては、今町長も言われたように200万円ほどまたその場合は使えるお金もあるということをおっしゃいました。予備費として5,000万円の予算も組んでおられるわけですが、ぜひ後々あのときやっておけばよかったというようなことがないように先手を打って、それでぜひPCR検査の拡大を図っていただきたい、このことを申し上げて終わりにします。

以上です。

○神谷長平議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。予算書では149ページから172ページまでとなります。

質疑ありませんか。

松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 154ページになりますが、説明欄の一番上の丸印、小規模企業振興事業、これは企業情報交換会の開催ということだとは思っておりますけれども、前年度と同額の80万円ということで予算が組まれておりますが、これはまだ今年度ですけれども、予定していた企業情報交換会もコロナウイルス感染症の影響を受けて結果的には開催ができなかったということで、また来年度も同額を組んだということは一応それを開催するという方向性で組んであるのかなと思うのですが、今の現状ではなかなかその開催予定時期というのははっきりと決められない状況かなとは思っておりますけれども、一応その予算が組んである以上は何月頃これを開催していくという方向性でいらっしゃるのか、その点についてまずお伺いをいたします。

○神谷長平議長 小林商工振興課長。

○小林 隆商工振興課長 大変ご質問ありがとうございます。

町では、平成30年度から町内及び近郊企業の皆様をお招きし、異業種交流を目的とした邑楽町企業情報交換会を開催しております。

ただいまの議員からのご質問でございますけれども、昨年度はコロナウイルスによりまして企業情報交換会は開催できませんでした。令和3年度におきましては、今のところ未定でございますけれども、平成30年度からは11月に行っておりましたので、毎年、11月ぐらいには開催できればということ考えております。

以上でございます。

○神谷長平議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 例年ですとその時期になるのかなと思いますが、この事業近隣の大泉町、それから千代田町が先行して行ってまして、それを受けてやはり邑楽町でもということで始まった事業なのかなと思うのですけれども、各企業の方々からは非常にこれ高い評価を受けていて、なかなかそういった場がないということで、非常にこれ業績の向上にもつながるといって高い評価を受けていたところでありまして、これがコロナの影響によって開催できないということになりますと、やはり企業の方からも伺っておりますが、それに代わる何か事業を町としては考えているのかというようなお話も伺っております。仮にですが、また開催できないというような状況に置かれた場合については、やはりその代替となるような事業を展開していく必要があるのではないかなというふうに感じておりますけれども、その点については何かお考えはあるのでしょうか。

○神谷長平議長 小林商工振興課長。

○小林 隆商工振興課長 新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、業況回復に向けて経営努力している事業者に対しまして、邑楽町公式ホームページ等を媒体としたPRの場を提供する邑楽町がんばる：会社お店PR応援事業等を計画しております。

以上でございます。

○神谷長平議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 最後に町長にお伺いをいたしますが、このコロナの影響を町内の企業もこれは受けて、やはり非常にこれからの行き先が不透明であると、また不安であると、そういった声を多くの企業の方から伺っております。そういった方々の不安を一つでも払拭していく必要がやはり町としてもあるのではないかと思いますけれども、そういったことについての町長の意気込みをお伺いをいたします。

○神谷長平議長 金子町長。

○金子正一町長 まさしくご意見のとおりだと私も思っておりますし、今担当課長のほうからお答えをさせていただきましたけれども、交換会を11月頃ということを一つの目安ではありますけれども、公式ホームページ等については事前にそういった活躍をしている企業、団体等からの要望というこ

とは受け入れて、それより早い段階からも十分できるということもこれはありますので、町の企業等が本当に大変な状況ではありますが、一日も早く活躍できるような、活性化できるような場をつくっていくということは行政の責任でもありますから、そういったことを踏まえて企業の皆さん方に元気が出るような施策といたしますか、それも進めていきたいと、こんなふうに思います。

○神谷長平議長 松島茂喜議員。まとめてください。

○7番 松島茂喜議員 町長から非常に前向きなご答弁をいただきましたけれども、やはり商工会との連携でしたりとか、町内であれば商工振興課だけではなくて、ほかの課との連携を強化していく、そういったことも必要でありますでしょうし、予備費を5,000万円取ってあるということでございますので、その中から順次やはりタイムリーに企業に対して対策をしっかりと打っていただきたいと、このように要望いたしますして、終わります。

○神谷長平議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 次に、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款予備費について質疑を行います。予算書では173ページから248ページとなります。

質疑ありませんか。

松村潤議員。

○10番 松村 潤議員 ページ数では236ページになります。10款の5項の社会教育費の中で、図書購入費が900万円となっておりますが、その詳細についてまずお聞きしたいと思います。

○神谷長平議長 田中生涯学習課長。

○田中敏明生涯学習課長 お答えいたします。

CDや雑誌、新聞等を除いた純粋な書籍の購入費でございます。町立図書館の書籍ということでございます。一般書3,500冊、児童書1,600冊を想定しております。

以上です。

○神谷長平議長 松村潤議員。

○10番 松村 潤議員 一般書と、それから児童書、合わせて5,100冊ということですが、購入予定ということですが、少ないのではないかなと私は思っております。というのは、図書館の蔵書を評価する指標の一つに開架蔵書新鮮度数というのがあります。これ現在蔵書数に対して年間の図書の購入冊数ということでもあります。邑楽町の町立図書館の場合は、この開架蔵書新鮮度数というのはどのくらいになっているかお伺いいたします。

○神谷長平議長 田中生涯学習課長。

○田中敏明生涯学習課長 令和3年2月末現在で4.8%でございます。

○神谷長平議長 松村潤議員。

○10番 松村 潤議員 2月末現在で、4.8%ということなのですけれども、私はさらに1%ぐらい上げる指標に設定していただきたいと、このように思っているわけなのですけれども、要するに1%上げるということは4.8%から5.8%ということになりますけれども、ぜひこれは上げていただきたいと、このように思っております。というのは、邑楽町の図書館は県内で一番利用率の高い、そういう図書館です。町外からもたくさんの方が来館していると、こんなふう聞いておりますので、そういったことを考えますとさらに利用する方の利便性を図っていただきたいと、そうなるためには当然購入費、費用がかかってくるわけなのですけれども、そういった金額を含めてお尋ねしたいと思っておりますけれども、これ町長をお願いします。

○神谷長平議長 金子町長。

○金子正一町長 図書購入費は、特に図書についてはやはり人間性を高めるということでいろんな面でこれ大変重要な書物だというふうに私認識しております。今開架蔵書数と購入の割合が4.8%というような担当からの回答がありましたけれども、この数字を求めるのは当然のことだと思うのですが、購入を分子として蔵書数を分母といたしますと、結果的に蔵書数が多ければこの割合は低くなってくると、逆に蔵書数が少なければ、今4.8%と言いましたけれども、あるいは5.8%、6.8%になるかもしれません。そういうことを考えますと、私はこの割合というのももちろん大事でもありますが、新しく先ほど購入する書物、一般書が3,500冊、それから児童書が1,600冊というような答えをさせていただきましたが、それと併せて今大変利用が多い900万円のほかに視聴覚資料の購入費というのが170万円ほどあります。加えますと、一昨年のご質問にもあったかと思いますが、この予算額を1,000万円まで何とか考えてほしいということで、金額だけではありませんけれども、そういったことを踏まえると私は多くの利用者の皆さんには満足までいくかということ、これは個人差がありますので、何とも申し上げられませんが、十分町の図書館は活用されている、図書館としての機能は果たしているといえますか、なっているのではないかというふうに思います。

おかげさまで開館以来本当に多くの町民をはじめ、町外の皆さんに利用していただいて、この図書館の利用率というのは本当に高い成果を得ているわけでもありますので、図書館もそうですが、中央公民館も本当に先日もお話ししましたが、大変すばらしい生涯学習の場であると、一体的に取り組むことができるので、そういう点ではこの図書館も今まで以上に担当を含めて充実した図書館にするように努力をしていきたいと、このように思っております。

○神谷長平議長 松村潤議員。まとめてください。

○10番 松村 潤議員 町長もこれからも努力していくということなのですけれども、やはり本当に邑楽町の図書館は明るいし、非常に広いし、非常に使い勝手がいいと、こう言われています。そういった町民の、町外の方の、利用者の方の声を聞きますとこういうもの欲しいのですよと言われたとき、なかなかそれ入っていないよと、こんな声も聞きましたので、利便性、また利用者のそ

った気持ちを考えますと、新しいもの、新しいもの、確かに財源がかかりますけれども、そういった限られた財源の中で新しい本をたくさんそろえるということは大変なことだと思いますけれども、ぜひ呂楽町が何が一番特徴あるか、呂楽町の図書館が県下一ですよ、こう誇れるものがありますので、これを一番であり続けるためにもやはり財源を投じていただいて、もっともっとよくしていただきたいと、こうお願いしまして、終わります。

○神谷長平議長 ほかに質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 ページ数でいきますと180ページ、10款教育費、1項教育総務費、説明欄の白丸、2番目の要保護・準要保護世帯等就学支援事業1,074万円の予算が組んであります。ちょっと確認します。所管なので、教育長もしくは副町長でも結構だと思いますが、この要保護・準要保護世帯等というこの支援事業については、該当するところには周知する通知を出すとか、何かそういうことをやっておられるのでしょうか。

○神谷長平議長 藤江教育長。

○藤江利久教育長 これにつきましては、奨学金でありますので、特に通知は出しておりません。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 なぜ私それ聞いたかということ、令和元年度の行政実績報告書を見たのですが、高校生の就学給付金、これが前は支給人数が25人、お金にして600万円、それから入学準備金の貸付金、これはゼロ人なのです。

それから、奨学金の貸付金が3人となっています。今非常にコロナの状況の中で大変な家庭が多い中で、特にここに要する要保護・準要保護世帯等、このご家庭の人たちに対しては大変な中でご苦労されていると思うのです。こういう人たちが気軽にこういう制度を利用できるというような状況をつくるのには、やはりある程度こういう制度を周知徹底をするということも必要ではないかと思うのです。その辺いかがでしょうか。

○神谷長平議長 藤江教育長。

○藤江利久教育長 特に対象の家庭には知らせていないのですが、一応広報紙には載せてあるということでご了解していただきたいと思います。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 そういう点が、呂楽町にはいろんな制度があるにもかかわらず、それを知らないで利用できないというようなことがこれに限らず多々見受けられます。その辺をやはり徹底して知らせていくと、そして有効に使ってもらおうということが私は必要なのではないかと思うのです。そういう点では、この点でいきますとこれ町長にお伺いしたいのですが、この給付金についてはその中でも前回は25人、貸付金については入学準備金がゼロ人、奨学金の貸付金は3人、こういう数字で見えますと貸付金というのはあくまでも借りるわけですから、返さなくてはならない。そ

ういう点からすると、給付金をより充実させていく、こういう立場でこの金額を月に2万円という金額になっておるわけですが、これをもう少し拡充をして、使っていただくというような考え方をやっぱり持っていく必要があるのではないかというふうに思うのですが、町長の見解をお伺いしたいと思います。

○神谷長平議長 金子町長。

○金子正一町長 給付金事業についての実績が議員のほうからご意見がありましたけれども、関係する生徒の方々が等しく同じような状況にある、まず所得制限いろいろあるわけでもありますが、等しくそれらが同じような状況であれば、25人という話がありました、多くの関係する方を給付対象ということにしていかなければいけないというふうに思っておりますので、具体的にこの給付金事業についての周知がちょっと不足しているのではないかというご意見もありましたが、これは当然学校を通してこういった制度がありますよということも可能ですので、教育長のほうから広報紙だけというお話がありました、それでも十分でないという部分があれば教育委員会のほうと協議をした中で周知をしていただいて、関係する皆さんに等しく給付できるような体制づくりはしていかなければいけないと、このように思っております。

○神谷長平議長 大野貞夫議員。まとめてください。

○13番 大野貞夫議員 ぜひその辺での周知徹底をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、いわゆるこの給付金ということですから、ほかの該当する以外の方との比較というふうになりますと、よく町長が言われるように公平性というような考え方からしますと、なかなかそこに踏ん切っていくというのが大変なことになるのではないかという考え方もありますけれども、やはりこういう立場に置かれて、要するに弱者の立場に置かれている人たちはスタートラインがもう違うわけです。ですから、スタートラインを何でも一緒くたにして1つのスタートラインではなくて、そういう弱い立場の人というのはそこに格差が出ているわけですから、そのところを考えてやっていくということがやっぱり福祉もそうですけれども、そういう基本的なところが何でもかんでも一緒ではないのだということを念頭に置いて、これからぜひそういう点でも進めていってほしいということをご要望しておきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○神谷長平議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

大賀孝訓議員。

〔5番 大賀孝訓議員登壇〕

○5番 大賀孝訓議員 議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算に対する賛成討論を行います。

令和3年度の我が国の経済見通しでは、年度内には経済の水準がコロナ前に回帰することが見込まれ、総合経済対策を円滑に実施することにより、消費者物価の穏やかな上昇が見込まれます。しかし、引き続き感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

このような状況の中で、本町における令和3年度の予算規模は一般会計で88億9,650万円、前年度比3億750万円の増額となっております。

歳入では、新型コロナウイルス感染症による影響により、町民税額が1億6,306万8,000円の減額となっているほか、地方譲与税についても1,520万円の減額となっています。また、小中学校の給食費の軽減により、学校給食費納入金が1,557万2,000円の減額となっております。新たな歳入として、新型コロナウイルスワクチン接種に対する国の支出金として、合わせて1億6,869万9,000円を計上しております。また、邑楽南地区の生活拠点施設整備事業に関して、事業者から7,507万8,000円の負担金を計上しております。

歳出では、新型コロナウイルス対策として令和2年度から行っている事業の一部を継続するとともに、新たにPCR検査への助成を行うなど、感染症対策の経費を計上しています。その中でもワクチン接種事業については、ワクチンの供給など、国からの情報不足がある中、状況に応じたスムーズで確実な事業の実施が必要です。

令和3年度から始まる第六次総合計画後期基本計画において最重点課題としている子供を産み育てやすい環境の整備を実感できる事業として、3歳から5歳までの園児に対して行っている給食費の無償化に加えて、令和3年度からは町内小中学生の給食費の軽減を行っております。

計画的に進められている小中学校のトイレの洋式化や令和3年度から実施される全員が授業でパソコンを使用できる教育環境の改善などにより、子育て環境の向上につながることを期待しております。

もう一つの最重点課題である産業振興の推進の実現に向けて、邑楽南地区の生活拠点施設整備事業の整備費が計上されており、地区全体の開発推進の核となるよう願っています。

以上のように、引き続き厳しい財政状況ではありますが、様々な事業が取り組まれております。大切な予算を効率的な行政運営に徹することで、多くの町民の皆さんが邑楽町で暮らすことで幸せが実感できるような町政運営を要望し、賛成討論とさせていただきます。

○神谷長平議長 ほかに討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔13番 大野貞夫議員登壇〕

○13番 大野貞夫議員 議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算に反対の討論を行います。

私は、昨年度、平成30年度町一般会計歳入歳出決算認定について討論した際、第六次総合計画に

うたわれている今後のまちづくりの一番の焦点は、団塊の世代がピーク時を迎える2025年問題に象徴される少子高齢化にどう対応していくか、来年度の予算に向けてより具体的に大胆に取り組むことを提案しました。ところが、ご承知のように昨年1月から広がり始めた新型コロナウイルス感染症は、我々の価値観を根本から変えざるを得ないまでに拡大し、世界的なパンデミックを起しています。さらに、今回新たな変異株による第4波と言われるインバウンドも懸念される状況になっています。

こうした状況に対して、今回の令和3年度予算編成は少子化対策の一環としての給食費の減免など、一定の評価すべき点がありますが、全体として国民健康保険や介護保険など、町民の重税感を解消するには至っておりません。

また、コロナ対策についても一応感染者に対する見舞金、邑ごはん推進事業、中小企業主への傷病見舞金などうたってはおりますが、まだまだ不十分です。

先般議会側から提案しましたが、今日のコロナ状況に即した持続化給付金のさらなる継続や、特にPCR検査の拡充など、高齢者施設はもとより保育園、幼稚園、学校など、幅広い検査をする必要があります。限られた予算ではありますが、言うなれば今日の状況に対応した予算にはなっていません。今後の推移によっては予備費も活用したさらなる対策も行わなければなりません。国や県に対しても町として積極的な要望を求めて、討論いたします。

○神谷長平議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第25号 令和3年度邑楽町一般会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○神谷長平議長 起立多数。

よって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

◎日程第2 議案第26号 令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算

○神谷長平議長 日程第2、議案第26号 令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

瀬山登議員。

〔6番 瀬山 登議員登壇〕

○6番 瀬山 登議員 議案第26号 令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

国民健康保険は、社会保障や国民保険の向上に寄与することを目的に、被保険者の疾病、出産及び死亡などに関して保険給付を行う医療保険制度で国民皆保険体制の基盤となる制度として地域医療の確保や町民の健康保持増進に大きく貢献しております。

令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算総額は、前年度に比べ1億629万3,000円の減額、29億6,102万4,000円です。現在邑楽町の国民健康保険加入者割合は、人口の4分の1を占めており、世帯数では約4割が加入しております。加入者は減少傾向にありますが、低所得者や高齢者の加入割合が高いなどの構造的な課題も抱えています。また、医療費は高齢化や医療技術の高度化に伴い増加傾向にあります。国民健康保険財政は依然厳しい状況にあります。

平成30年度から群馬県が事業運営に加わり、広域化に移行しましたが、引き続き町が担う特定健診や保健指導など、医療削減に向けた保健事業や健康増進対策などを推進していただくとともに、県と連携して一層の国民健康保険財政の健全化を図っていただき、持続可能な国民健康保険制度となるよう期待して、本予算に賛成いたします。

○神谷長平議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第26号 令和3年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○神谷長平議長 起立多数。

よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 議案第27号 令和3年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算

○神谷長平議長 日程第3、議案第27号 令和3年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第27号 令和3年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○神谷長平議長 起立多数。

よって、議案第27号は原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第28号 令和3年度邑楽町介護保険特別会計予算

○神谷長平議長 日程第4、議案第28号 令和3年度邑楽町介護保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

小沢泰治議員。

〔12番 小沢泰治議員登壇〕

○12番 小沢泰治議員 議案第28号 令和3年度邑楽町介護保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

介護保険制度は、制度施行以来21年、令和3年度は22年目となります。この間、本町の高齢化率は着実に増加し、第1号被保険者の高齢化率は令和3年2月末には32%となっています。当然要介護高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者など、日常生活を送る上で何らかの支援や介護を必要とする高齢者は確実に増加しております。

このような状況の中、令和3年度の介護保険特別会計予算の総額は21億293万3,000円で、前年度、

令和2年度に比べ2,630万5,000円、率にして1.3%の増額となっています。

介護サービス給付費は、着実に増加の一途をたどっており、今後はさらにサービス量の増加が見込まれ、厳しい財政状況になることも予想されます。令和3年度は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の初年度を迎えます。ますます健全な介護保険財政を保ちつつ、高齢者の方が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送れるよう、よりニーズに合った介護保険事業の運営を心がけていただくとともに、健康づくりの取組、介護予防、重度化防止対策、地域の社会資源を生かした支援やサービスの充実を図ることを要望し、本案に賛成いたします。

○神谷長平議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第28号 令和3年度邑楽町介護保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○神谷長平議長 起立多数。

よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第29号 令和3年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○神谷長平議長 日程第5、議案第29号 令和3年度邑楽町下水道事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論ありませんか。

原義裕議員。

〔9番 原 義裕議員登壇〕

○9番 原 義裕議員 議案第29号 令和3年度邑楽町下水道事業特別会計予算について賛成討論を行います。

現在の供用開始地域は162ヘクタールであり、公共下水道に対する関係者のご理解の下、水洗化率も7割以上と順調に推移しております。

令和3年度の予算総額は3億8,203万9,000円で、令和2年度に比べ34%の増額となっております。

人口減少などにより厳しい財政状況下ではありますが、さらなる排水接続人口の推進を図り、継続的な事業運営、効率的な事業計画及び執行により公共用水域の保全と町民の生活環境の向上を図ることを要望し、本案に賛成します。

○神谷長平議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神谷長平議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第29号 令和3年度邑楽町下水道事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○神谷長平議長 起立全員。

よって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

◎散会の宣告

○神谷長平議長 以上で本日の日程は終了しました。

明日19日は午前10時から会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

お疲れさまでした。

〔午前10時55分 散会〕